

平成27年度

事業計画書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

基本方針

わが国では、少子高齢化が顕著となり、当協会においても若い人々の割合が減少する傾向にある。さらに、消費税増税、物価高騰など当協会を取り巻く状況は厳しさを増すことが予想される。それらを考慮しつつ、健全な協会経営と次世代に対する啓発などの投資的事業を両立させ、公益法人としての使命を全うするとともに、国内のグライダー活動の先導的役割を果たすことでスカイスポーツの振興を図る。

事業活動

I グライダーの操縦・整備技術の伝承と指導者の養成事業（公益目的事業1）

初心者から指導者までの広範にわたる一般の人々及び愛好者に対して、技量や要望に応じた各種の魅力あるメニューを実施して、飛行技術の伝承、整備技術の伝承・支援および指導者の養成を図る。

1. グライダースクールにおける操縦に関する指導

① グライダースクール

- ・サマーレーニングコース 7回実施する（各15名程度）

なお開催期間は1回5日間の設定とする。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 第1回：6月22日～6月26日 | 第5回：9月7日～9月11日 |
| 第2回：7月6日～7月10日 | 第6回：9月28日～10月2日 |
| 第3回：8月3日～8月7日 | 第7回：10月5日～10月9日 |
| 第4回：8月24日～8月28日 | |

- ・ウィークリーコース シーズン中の平日に随時実施する
- ・ウィークエンドコース シーズン中の土日祝日に実施する

② グライダーキャンプの受入

- ・大学生及び社会人の合宿誘致を図る

#1 大阪大学 OB キャンプ 7月27～7月31日

#2 大学生・若手社会人対象のユースキャンプ 8月10日～8月14日

2. たきかわスカイパークを利用する航空機に対しての整備支援

協会所有の整備施設を活用して常駐または外来航空機の整備支援を行う。

3. 特定操縦技能審査

平成26年度の航空法改正で施行された、自家用操縦士に対する操縦技能審査を実施する。

4. 滝川グライダーミーティング 2015

グライダー操縦技術の向上、およびクロスカントリーを実施する上での基本的知識・技術を習得するための、講習会・競技会を実施する。

- | | |
|--------------|-----------|
| ・クロスカントリー講習会 | 5月23日～30日 |
| ・クロスカントリー競技会 | 5月31日～5日 |

5. 各種受験に関する指導

- ① 学科試験及び実地試験対策講習会の開催
対象資格：自家用操縦士（滑）上級・動力
実地試験予定時期：10月
- ② 日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験の実施

6. アシスタントインストラクター制度（新設）

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、インストラクターの養成を推進するための奨励制度を設定する。

7. 各種講習会の実施（講師派遣）

- ① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催
- ② スカイスportsを対象とした各種講習会への講師派遣

8. 国際交流事業の推進

① 教官の派遣

冬季間、南半球を訪れる日本人に対し、ニーズに合致した教育支援を現地グライディングセンターと協同して実施するとともに、滝川における国際選手権開催の可能性を探る。

期 間：平成 27 年 12 月～平成 28 年 2 月、各 3 週間程度

派遣先：オーストラリア及びニュージーランド

対象者：操縦教員 3 名

② 曳航パイロットの招聘

各種飛行事業を円滑に行うために、曳航パイロット 2 名を招聘する。

期 間：5 月下旬～10 月中旬、のべ 21 週間

招聘先：オーストラリア

③ 世界のトップレベルのグライダーパイロットの招聘

北海道のグライダーにおけるクロスカントリーの可能性をさらに広げるために、世界的に活躍するグライダーパイロットを招聘する。

期 間：5 月下旬～6 月中旬

招聘者：Gavin Wills（ニュージーランド、オマラマ滑空場）

Lemmy Tanner（ニュージーランド、オマラマ滑空場）

滝沢 信三（オーストラリア、ナロマイン滑空場）

④ ヨーロッパのグライダークラブ視察

ヨーロッパ各国のグライダークラブを視察し、教育・運営状況に関する情報、ノウハウを得る。

期 間：5 月中旬～6 月上旬

派遣先：イギリス、ドイツ、フランス、ポーランド

対象者：運営管理者 1 名

8. 国内滑空団体との連携

国内他地域の滑空団体と連携を進め、人的交流や情報交換を促し、滑空スポーツの活性化を図る。

II スカイスports啓発事業（公益目的事業2）

学校教育及び市外航空青少年団体との積極的な連携を図る。

1. 近隣市町の小・中学校を対象とした体験学習の受入

- ① 市内全小学校児童のグライダーや軽飛行機による体験授業を行うとともに、周辺市町小学校への対象拡大を進め定着化を図る。

時期：6月及び10月

- ② 市内外の生徒・児童に体験学習及び施設見学の実施

時期：随時

2. こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内のこどもたちを対象に、体験搭乗や紙飛行機教室を実施する。

開催日：5月5日（火）

対象：道内の小学生

予定人数：体験飛行55名（来場者500名）

3. ジュニアグライダークラブ／青少年会員の活動

地域の小中高生を対象に、空に接する機会を増やすと同時に、グライダー操縦練習活動を充実させる。また、グライダー愛好者の底辺を広げるため、会員増を図る。

- ① ジュニアグライダークラブ会員：10～14歳の児童・生徒

- ② 青少年会員：14～18歳の生徒

4. ユース会員（新設）

学生および大学を卒業した後も社会人クラブでグライダー活動を継続しようとする若手を支援するため、「ユース会員」制度を創設する。

年齢：18～26歳

優遇措置：入会金免除、会費、サマーレーニングコース参加費等の割引

引

5. 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

全国の古典機愛好者と連携して、航空文化財として歴史的価値の高いヴィンテージグライダー（古典機）の国内唯一の修理・展示・飛行を総合的に行える施設の整備を追及するとともに、世界の古典機クラブとの連携を模索する。

- ① 滝川ミーティングの実施（古典機屋内展示と復元作業の一般公開）

期日：6月1日～7日

7月18日～24日

場所：旧滝川高等技術専門学院木工棟

- ② ヴィンテージグライダー（ヨゼフ・オベラーヒナー式 MG19）の耐空証明取得、デモフライトの実施

- ③ イベントにおいて、飛行展示、地上展示を行い、ヴィンテージプロジェクトの広報の実施

- ④ 「ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト」報告会の開催

- ⑤ VGC（世界のヴィンテージグライダー統括団体）との連携
- ⑥ 関連資料の分類・整理・公開

6. 航空青少年団体との連携

航空少年団や宇宙少年団と連携したプログラムを実施する。

- 対 象：未定
- 内 容：体験飛行・スチレングライダー作成・イベントへの招待等
- 時 期：未定

7. イベント支援

道内各地で行われる航空祭に積極的に参加し、グライダースポーツ及び「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図る。また、一般のイベントにも積極的に参加する機会を求め、広くグライダーの周知に尽力する。

① 2015 北海道スカイスポーツフェア in 鹿部

- 開催日：8月30日（日）
- 場 所：鹿部飛行場（鹿部町）
- 主催：(公社)北海道スカイスポーツ協会
- 支援内容：未定

② 千歳基地航空祭 2015

- 開催日：7月19日（日）
- 場 所：航空自衛隊千歳基地（千歳市）
- 主 催：航空自衛隊
- 支援内容：グライダー地上展示

8. スカイパーク施設の管理・運営

「たきかわスカイパーク」の指定管理者として、施設運営及び事業を展開する。また、施設の老朽化に対応して、研修棟の外壁・屋上修繕を行う。

III 地域振興に寄与する事業（公益目的事業3）

滝川市及びたきかわ観光協会と連携して、「空」をテーマとした体験型観光事業を推進するとともに、地域振興に寄与する事業の展開を積極的に図る。

1. サマースカイフェスタ 2015

- 開催日：7月26日（日）
- 場 所：たきかわスカイパーク
- 共 催：滝川市、（一社）たきかわ観光協会（予定）
- 動員目標数：5,000人

2. 「OpenSky4.0」（「風の谷のナウシカに出てくる架空の飛行機メーヴェを実機として作る」プロジェクト）展覧会の支援

- 開催日：7月18日（土）～27日（月）
- 場所：たきかわスカイパーク
- 内容：・OpenSkyプロジェクトで制作されたジェットエンジン付き機（M-02J）の格納庫内での展示

- ・M-02Jによる、公開試験飛行（毎日朝8時～9時半：ただし天候による）
- ・VRシミュレータ『「きみはテト」と「カイクイライド」』の体験
（リリエントール）

対象：一般市民、本州からのツアー客

3. 観光客等の受入

フライトシーズン中、体験観光飛行を積極的に受け入れる。

- ① 地域の飲食店や宿泊施設と連携したプログラムを企画・実行し、情報発信力を高める。
- ② 滝川市、（一社）たきかわ観光協会の動きと連携し、東アジアからの旅行者を誘引する観光プログラムを開発する。
- ③ 美唄市や富良野市など近隣エリアのスカイスポーツ体験事業者と連携し、空の体験を希望する観光客への訴求力を高める。
- ④ インターネットによる予約システムの活用・充実に努める。

4. グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民対象

実施期間：7月22日（水）～7月25日（土）

予定人数：400名

② 一般市民対象

実施期間：4月中旬～11月中旬の間に随時

予定人員：1,200名程度

5. 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

公益財団法人そらぷちキッズキャンプが実施する、難病などの病気とたたかう子どもを対象としたキャンプのスカイスポーツ体験プログラムやツアープログラムを担当する。

開催日：8月中旬（予定）

IV スカイスポーツに関する調査研究事業（公益目的事業4）

1. スカイスポーツ関連の情報収集・発信

海外のグライダー界の状況を、国内にあっては愛好者の動静を重視し、情報の提供においては、あらゆる機会・媒体を捉えて、事業内容を中心として国内外を問わず積極的に発信する。

- ① ホームページを最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容に変えていくとともに、フェイスブックを活用した情報発信を行う。
- ② パンフレットの活用、観光業者との連携
体験飛行用パンフレットを新たにカラー化し作成する。また、道央エリアで活動する他のスカイスポーツ団体と連携し、合同でパンフレットを作成・配布する。加えて、東アジアからの観光客増加を念頭にパンフレット類の多言語化を進める。
- ③ ヨーロッパ視察
前掲（I-8-④）

2. 研究機関との共同研究

北海道大学低温科学研究所と連携して、大気観測装置およびグライダーを利用した大気観測の研究に協力する。

V フライトサービス局による航空情報提供事業（公益目的事業5）

たきかわスカイパークを利用する航空機及び付近上空を飛行する航空機に対して気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行う。

VI 利用者への施設提供事業（その他の事業1）

たきかわスカイパーク利用者への利便性を向上させるため、各種の施設提供事業を行う。

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を刺激して、危険に対しての的確な見積りと確実な基本動作を実施させて、航空無事故を継続する。

無事故目標： 6,206 日

管理部門

1 会員

各種イベント等を通じ、個人会員の入会勧誘を積極的に進める。併せて、市内個人・法人に対する当協会への理解を深めていただくよう働きかけ、正会員や賛助会員への入会を積極的に勧めていく。

2 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページを活用して、当協会の情報公開を積極的に進める。

3 業務執行体制の整備と強化

地元企業との連携を深くすると同時に、業務管理体制を充実させ、運航体制の強化を図る。また、ボランティアスタッフの充実に努め、各種事業の円滑な実施を目指す。

4 その他

消費税の増税および航空機燃料の高騰等にもとない収支の均衡を保つため、経費節減に努めると同時に、取捨選択による効率的な資源の活用を図る。